ラストスパート

第２２１号（2011.8.8）
発行　米子北陸上部

歓迎 2011 熱戦再来 北東北総体 陸上競技 がんばっています！岩手
北上陸上競技場
北の空 君に無限の可能性
期間：平成23年8月3日（水）～7日（日） 会場：北上陸上競技場
平成23年度全国高等学校総合体育大会北上市実行委員会

←
2011 / 8 / 5 付
日本海新聞

牧（米子北）悔し20位 陸上八種

第8日

全国高校総体（インターハイ）第8日は4日、岩手県などで各競技を行い、陸上女子100㍍は1年生の土井杏南（埼玉栄）が11秒88、男子は梨本真輝（千葉・市船橋）が10秒50で優勝した。

1500㍍の男子は戸田雅稀（群馬・東農大二）が3分47秒36で日本人選手6年ぶりの優勝。女子は1年生の福田有以（兵庫・須磨学園）が4分17秒15で制した。女子走り高跳びは上島みどり（京都・花園）が1㍍72で制覇。男子八種競技は高校記録保持者の田中新也（京都・洛南）が5730点で圧勝した。

レスリングの55㌔級は高橋侑希（三重・いなべ総合学園）が史上3人目となる3連覇を達成。ソフトボール男子は決勝で大村工（長崎）が新島学園（群馬）に8―1で快勝し、初優勝。ソフトテニス女子団体決勝は広島翔洋が中村学園女（福岡）に2―1で勝ち、2年連続16度目の優勝を飾った。

鳥取県勢は、陸上の八種競技で前半14位につけていた高校県記録保持者の牧大智（米子北）が上位を目指したが、自己ベスト更新はならず20位だった。弓道個人の県勢4人はそろって予選を通過したものの、準決勝で敗れて決勝には進めなかった。ソフトテニス女子団体の米子松蔭は初戦の2回戦で須磨学園（兵庫）に1―2で惜敗した。

八種競技最終種目の1500㍍終了後、他校の選手と一緒にスタンドに向かってあいさつする牧大智（中央）＝岩手・北上総合運動公園陸上競技場

陸上（北上総合運動公園陸上競技場）

【男子】

▽ハンマー投げ予選「1組」⑪前田勝也（倉吉総合）52㍍71㉓広岡悠次（倉吉総合）47㍍26＝以上落選「2組」㉒手石妙亮（倉吉北）49㍍76＝落選

▽八種競技 ⑳牧大智（米子北）5010点（100㍍11秒58、走り幅跳び6㍍63、砲丸投げ9㍍70、400㍍52秒00、110㍍障害15秒59、やり投げ40㍍09、走り高跳び1㍍70、1500㍍4分55秒33）

【女子】

▽走り高跳び予選「1組」⑲森脇くらら（倉吉東）1㍍60＝落選

ガッツ

牧

緊張、力み…目標届かず

牧（米子北）は大会に出るたびに新記録を連発してきた八種競技の高校県記録保持者。中国高校（6月）で出した5166点の更新を大舞台で狙ったが、緊張や力みも影響して目標には届かなかった。

「1日目の得意な種目で自己新を出して、2日目を乗り切る」と描いた。苦手の投てきと伸びしろがあるとにらんだ400㍍の練習を集中的にやってきた。

しかし、得意の100㍍や走り幅跳びで向かい風に阻まれると、2日目の投てきでは思った以上に緊張し、体勢を崩して記録は伸び悩んだ。

一時は8位の場面もあったが、結果は20位で5010点。順位もだが、高校県記録を更新できなかったのがもっと悔しくて、しばらく浮かない表情だった。

2日間を共にした戦友と一緒にスタンドに向かってあいさつすると「やっぱり楽しかったなあ」。やっと笑顔が戻った。スキー選手として県外から米子北にやって来た。「きょうが悔しくて楽しかったから、大学に進学したら十種競技をやりたくなりました」。鳥取で出会った競技にすっかりとりこだ。（中西理恵）

←
2011 / 8 / 4 付
日本海新聞

牧（米子北）14位折り返し 陸上八種

ホッケー男子 八頭PS戦で惜敗

第7日

全国高校総体（インターハイ）第7日は3日、秋田県などで各競技を行い、サッカーの決勝は桐蔭学園（神奈川）が静岡学園に2―1で逆転勝ちし、11度目の出場で初優勝を果たした。

陸上の400㍍は男子の山本大介（宮崎北）が47秒48、女子の島田愛弓（埼玉・東農大三）が54秒88でともに初優勝。女子やり投げは滝川寛子（大阪・東大阪大敬愛）が51㍍61で初制覇した。

ハンドボールの決勝で、男子は小林秀峰（宮崎）が藤代紫水（茨城）を30―24、女子は華陵（山口）が高岡向陵（富山）に25―17でそれぞれ勝ち、ともに初の栄冠。

鳥取県勢は、陸上の八種競技で牧大智（米子北）が前半4種目を終えて14位につけた。女子やり投げの田中晴菜（倉吉総合）は3回目にこの日ベストの42㍍38をマークしたが、予選通過はならなかった。

レスリング個人66㌔級の前田祐也（倉吉総合）は3回戦で敗れて惜しくも入賞には届かず。重量挙げ53㌔級では多田圭佑（米子工）が165㌔を挙げて11位と健闘した。

ソフトテニス女子個人の小竹里奈・伊達未悠（米子松蔭）は5回戦で敗れてベスト16入りはならなかった。ホッケー男子の八頭は1回戦で山梨学院大付にPS戦の末に惜敗した。

陸上（北上総合運動公園陸上競技場）

【男子】

▽400㍍予選「3組」⑪岸田健太郎（鳥取城北）50秒23＝落選

▽棒高跳び予選「2組」福井広葉（倉吉総合）＝記録なし、落選

▽八種競技前半 ⑭牧大智（米子北）2656点（100㍍11秒58、走り幅跳び6㍍63、砲丸投げ9㍍70、400㍍52秒00）

【女子】

▽1500㍍予選「4組」前川祐紀（鳥取育英）＝欠場

▽やり投げ予選「2組」⑩田中晴菜（倉吉総合）42㍍38＝落選

→
2011/8/5 付
日本海新聞

けっぱれ！

▽…陸上八種競技最終種目の1500㍍がスタートすると、先にゴールして控え室で待つ最初の組の選手に、大会役員が「応援に行っていいよ」。選手はうれしそうにゴール近くに向かい、後の組の選手の力走に大声援。通常、控え室に入った選手は競技場に再入場できません。役員いわく、「2日間一緒に戦ったから、最後の種目は応援したい」という要望が多くて、数年前から許可してます」。粋な計らいにぐっときました。（中西）